

第3回生駒市総合計画審議会（全体会）

開催日時 平成30年5月15日（火）13時30分～15時30分

開催場所 生駒市役所4階 大会議室

出席者

（委員）中川会長、久会長代理、高取委員、森岡委員、福谷委員、中谷委員、
楠下委員、谷中委員、藤尾委員、中山委員、村上委員、吉田委員

（事務局）増田市長公室長、坂谷秘書企画課長、岡村秘書企画課課長補佐、
日高秘書企画課主幹、片山秘書企画課員、市川いこまの魅力創造課長

欠席者 なし

議事内容

1 開会

2 案件

- （1）将来都市像（案）について
- （2）基本構想（案）について
- （3）基本計画（素案）について
- （4）後期基本計画の進行管理について

3 閉会

以下、発言要旨

1 開会

【事務局】 ただいまから「第3回生駒市総合計画審議会」を開催します。第6次総合計画策定のコンサルタント事業者は三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社に決定しました。

【事務局】 （資料確認）

2 案件

- （1）将来都市像（案）について

(2) 基本構想(案)について

【中川会長】 それでは、案件1番目の「将来都市像(案)について」と案件2番目の「基本構想(案)について」まとめて事務局から説明をお願いします。

【事務局】 (資料2、資料1について説明)

【中川会長】 基本構想のA案とB案は4ページの「まちづくりの目標」のIからVIの順番のみ違う。ここでA案とB案が決まれば自動的に基本構想もA案、B案が決まる。将来都市像については、基本計画の議論で見解が出てくる可能性があるため、私、久会長代理、事務局とコンサルタント事業者の三者が集中的に議論する時間を別途取ることです承願いたいがどうか。

【各委員】 (異議なし)

【中川会長】 先ほど久会長代理と事務局とで行った事前打ち合わせでの、久会長代理の将来都市像に対する考え方を紹介してほしい。

【久会長代理】 20年後の人口減少と経済成長が右肩上がりではない社会の中で、生きがいや幸せを感じられる生駒市にするために何を考えなければならないかを議論したい。また、従来は「ベッドタウンとしての住宅都市」を標榜してきたが、今後は職住一致、職住近接として「住むのも働くのも地域や生駒」という人が増える可能性が高いため、「働き」も地域に埋め込むことを考える必要がある。「働く」こと自体が生きがいややりがいにつながる部分も出てくる。暮らし方に加え、住宅像、まちの姿などを皆と議論して方向性を一つにしたい。最近20代から40代前半の人で、起業して社会を変える、社会を良くするという生き方をする若者が増えている。まだメジャーではないが、20年後はその世代が社会の中核を担うため、影響力を考えておく必要がある。将来の予想は誰にもできないが、「私がこういう社会を築きたい。そのために日々努力したい」とは言えるし、そこが大切である。市役所の職員と共に皆で議論して「われわれが築き上げる20年後の生駒の姿」を将来都市像にしたい。将来都市像は、抽象的なイメージではなく皆が共有できる具体的な言葉にしたい。

【中川会長】 人口減少や産業構造の変化への対策は必要であり、予測的にできるが、20年後のことは対策を飛び越えており誰にも分からない。高度経済成

長期や安定成長期はパターンも似通り、特にハードウェア中心の施設対応が主流だったが、20年後は対策型のスローガンではなく、良い変化を生むための未来創造型のクリエイティブな政策型のスローガンが良いという提案である。

(3) 基本計画（素案）について

【中川会長】 案件の3番目の「基本計画（素案）について」事務局から説明をお願いします。

【事務局】 （資料3-1の16ページの「基本施策」まで、資料3-2について説明）

【中川会長】 まず質問はあるか。

【各委員】 （質問なし）

【中川会長】 主として、A案、B案のどちらが良いかについて意見を聞きたい。

【高取委員】 高齢者を考えると、健康づくりと生活安全、災害時の見守り体制は関連が深いため、安全と安心で、高齢者や健康づくりと防災、消防が合体しているB案が良い。

【森岡委員】 高齢者の社会保障や障がい、健康づくりは、市民と行政の協働によって実施する部分が多分にあり、防災、消防や生活安全とは中身が少し違う。A案がすべて良いわけではないが、そこだけを見るとA案のほうが良い。

【福谷委員】 B案が良い。防災、消防についても高齢者の防火訪問など様々な面で重なる部分がある。また、各個人の生き方や暮らし方に目を向ける時代になることを踏まえ、人生を充実させることも考慮すると「3 市民と暮らしが輝くまち」と一つにまとめたカテゴリーをもつB案が良い。

【中谷委員】 A案が良い。安心、安全で、B案は福祉的なハードとハード的な防災関係を一緒にしているが、分けたほうが良い。A案の5に「市民が主役」と、市民が主体になるという基本的条件が入っているためA案が良い。

【楠下委員】 B案が良い。今後20年間の人口減少などの様々なマイナス要因を想定すると、かなり思い切った対策が必要である。国際的な動きに合わせて10年、20年の長期計画で進めることが大事である。B案の「5」

に、観光と多様な交流の促進や商工業の展開の項目があるが、生駒は大阪や京都などの大都会の近くにありながら、豊かな自然が残っているという貴重で特徴ある地域である。高山地区の第2工区についても今から調査、検討して、10年後には具体的な対策に移るという前向きな方向性を出すという意味で、B案が良い。

【谷中委員】 A案が良い。B案は夢のようなきれいなタイトルが並び過ぎている。A案の、「3 だれもが安全に暮らせるまち」にある、人権・多文化共生と男女共同参画を、タイトルを変えてでもどこか違うところに含めることができれば、A案が良い。

【藤尾委員】 総合的にはB案が良いが、「いつまでも安心」、「いつまでも安全」と、言葉をかぶせすぎなのでタイトルはもう少し考えてほしい。

【中山委員】 A案が良い。これからの学研都市を考えるとA案でいきたい。

【村上委員】 B案が良い。安心と安全は一つのものという感覚がある。高齢化社会を担う子どもたちのことを考えると、B案が良い。

【吉田委員】 A案が良い。安心と安全は別の方が動きやすい。また、「子育てしやすく、だれもが成長できるまち」のところに生涯学習・スポーツと歴史、文化が入っているので、A案が良い。

【中川会長】 ただ今のところ、5対5である。

【久会長代理】 谷中委員の意見に近く、B案が良い。人権・多文化共生と男女共同参画が防災や消防と一緒にいると、危険につながる人権問題やDVなどをイメージするため居心地が悪い。市民協働・地域コミュニティも、ここの枠にあるのは居心地が悪い。B案はこの3つが一つのところに収まっているためすっきりしている。5～6ページの主要課題に方策まで記載されているが、ここは課題で留めたほうが、後ろにつながりやすい。

【事務局】 当初はA案で考えていたが、人権の位置づけに違和感があるという指摘があったため、今回新たにB案を提示した。当初の事務局案では、約10年前から大規模災害が頻繁に起きていることから、安全を強調する意図で、A案で分野を1本立てて安全と安心を分けた。しかし、安心と安全はかなり密接に関わるため、見直し案としてB案を出した。

【谷中委員】 先ほどA案が良いと言ったのは、B案のタイトルが気に入らなかった

からだ、人権や男女共同参画の分類の仕方について聞くうちに、B案の方が良いという方向に考えが変わった。

【中川会長】 資料3-2の「分野の再編について」の左側部分はA案もB案も共通で、今回6分野にしていることも共通である。安全と安心を一緒にするほうが良いかどうかの話になっているが、第5次生駒市総合計画にもあるように、行政の縦割りの分野別の親近性だけでなく、住民自治における親和性も意識するようになってきている。住民にとって災害対策のために動こうと思ったときに、避難所経営で新たなパワーハラスメント、セクシャルハラスメントを起してしまったという事件が多発したり、障がい者を無視したという事件が起きてしまっている。そのような観点で、安全と安心が一緒になっているのはおかしいという議論が主流になっている。本日はどちらかでは困るというご意見はなく、どちらが分かりやすいか、市民にとってどちらが馴染みやすいかというご意見だったため、それらを加味して、三者で決定したい。

【森岡委員】 B案は、市民協働分野の大きい部分と安全をどう守っていくかという部分が一つになっているが、取り組み方に違いがあるため違和感がある。タイトルも安心と安全が一緒になっていて違和感がある。工夫が欲しい。

【中川会長】 安心を福祉と決めつけているように思える。「安全は防災や交通安全」と通り相場のようにもなっているのも安易である。タイトルは考え直しても良いと思う。大筋ではB案の組み立て方のほうが良いという方向になってきたと思う。

【中川会長】 これは多数決で決めるものではない。いただいたご意見を元に、私、久会長代理、事務局とコンサルタント事業者の三者で練り直して、タイトルも含めて整理し、修正して出し直す。

【森岡委員】 素案A案の13ページ「①都市拠点・地域拠点」についてだが、生駒市は南北に細長く丘陵で分断されているため東西関係の交通が弱く、近鉄線と縦にバス路線が1本あるだけである。北部も南部も、東西の交通が繋がっていないためコミュニティセンターも、北コミュニティセンター、南コミュニティセンターと別々に設けている。鹿ノ台の人は、バスで一旦奈良市内に入らなければ生駒の駅に来れない。この地形的な弱

点をどう克服していくかという課題がある。生駒市地域公共交通活性化協議会でも議論されているため、これを踏まえる必要があると思う。

【中川会長】 都市交通の政策担当課とも協議のうえ、「①都市拠点・地域拠点」と「②ネットワーク形成」に、東西方向の記述を盛り込むことはできるか。

【事務局】 第5次総合計画でも南北方向のネットワーク強化について書かれているため、担当課とも協議して記載したい。

【中川会長】 「都市構造・土地利用イメージ図」の変更に関わるほどの話ではなく、決意と言うか、方向性を暗示する文章が入れられないかという趣旨だと思う。

【森岡委員】 14ページの地図で分かるが、大阪府下に抜ける2本の道はつながっておらず生駒市内で循環していない。この課題をどう克服するか。

【中川会長】 市道の整備は莫大な投資になるため、そこまでこの審議会では指示できない。希望として、国や奈良県などに東西道路を作ることを働きかけていく姿勢を示すかどうかである。担当課と協議して書き振りを工夫してほしい。

【事務局】 (資料3-3について説明)

【中川会長】 資料3-3は、基本計画の施策項目別のフォーマット変更の提案である。変更箇所は2か所である。現行の「市民等の役割分担」を「市民・地域コミュニティ」にくくり「多様な主体と協創したいこと」として、「事業者」を「事業者・NPO等」にして、「他の行政機関」も入れた点、従来なかった「関連する施策」を特出ししている点である。了承いただけるか。

【森岡委員】 仕事をしていて困るのが「多様な主体と協創したいこと」が単一のまともになっていることである。これそのものは良いが、協創になじまないものもあるため、柔軟性を持たせる必要がある。課によっては協創しにくいものもあり、正直なところ無理やりくっつけてしまう面もある。

【中川会長】 「協創」という言葉は本編に出てくるか。

【事務局】 基本構想の基本理念に「協創」が出てくる。「協働」ではなくあえて「協創」としたのは、お互いに共有できる価値を認識して目的達成に向けて一緒にやっていくという意図があり、記載しづらい分野や記載する

分量が分野によって差が生じることは想定している。

- 【森岡委員】 建前だけになり実際には何もできなかったということが起こり得る。
- 【中川会長】 すべて「協創」にすると無理に仕事を絞り出す危険性がある。民間責任のものもあるため「多様な主体の役割と協創」ではどうか。
- 【森岡委員】 書くことに困って「こんなことができるのか」という突拍子もないことを書いて、結局できなかったということがもっとも心配である。
- 【楠下委員】 環境保全活動の内容は、行政主体、団体や市民主体、協働でやるものの3つが含まれている。省エネの投資など行政でなければできないこともある。協創でもっとも大事なのは、一つの方針に基づいて市民の役割分担をいかに効率良くやっていくかである。「ECO-net生駒」は、商工会議所と連携して行っているが、自治体の連携や市民との情報交流、事業者に対するPRや連携を今後さらに強化すべきである。そういう意味で、市民の役割分担等を一番右に出すのは効果的である。「環境マネジメントシステムの推進」は市がシステムを構築し、市民が実際に現場を見て確認しており、現場サイドでの意識は非常に高まってきている。市が中心、市民が中心の区分けが上手く見えるようになれば良いと思う。
- 【中川会長】 マイバッグの使用など、「協創したいこと」の中に市民側の責任でやるものが混在している。前の総合計画もそこまでの仕分けをしておらず、協働の話をどこまで出すかが次の課題だが、今回は、市民側の責任、事業者の責任、他の行政機関との連携を明確にすることで良いのではという問題提起だと思う。大変重要な指摘のため、持ち帰らせてほしい。
- 【谷中委員】 現行の「市民1人でできること」、「市民2人以上でできること」、「事業者でできること」や、改正案の「多様な主体と協創したいこと」の意味が伝わってこない。カッコ悪くても単純な言葉にしてほしい。
- 【中川会長】 もっとも簡単に言うと「役割」である。「市民の役割」でどうか。
- 【久会長代理】 市民や事業者の役割をだれが責任をもって、書かれたことを実行するかが不明だったため、市役所として「多様な主体と協創したいこと」として記載したという苦肉の策だと思う。「一緒にやりたいこと」と「他の主体にお願いしたいこと」をうまく切り分けるとすっきりする。
- 【中川会長】 生駒市における協働のステージは、一昔前の「市民と手を結びましょ

う」からレベルが上がっているのだと思う。方向性は指示されたと思うが、多様な主体の役割や協創の書き方は検討したい。

（４）後期基本計画の進行管理について

【中川会長】 まず、諮問について事務局に進行をお願いする。

【事務局】 第5次総合計画の後期基本計画の進行管理につきましては、第6次総合計画の策定とは諮問事項が別になりますので、改めて本審議会に対しまして、市長に代わって市長公室長から諮問を行わせていただきます。

【中川会長】 お手元の資料4-1である。

【事務局】 諮問事項、後期基本計画の進行管理（平成29年度）について、諮問させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

【中川会長】 続いて案件4に入る。事務局からやり方について説明をお願いする。

【事務局】 （資料4-2について説明）

【中川会長】 担当課の出席を求めるのは時間がかかり負担も大きいため、質問は事前に書面で出していただき、事務局を通して回答をもらう形でやっていくということである。3部会に分かれて各2回行う。16～18項目のため1回あたり8～9の施策を評価しなければならない。検証シートは6月初旬に事務局から郵送されるため、6月中旬までに進捗状況評価の提出をお願いしたい。書き方が分からない場合は、事務局に問い合わせしてほしい。ご質問、ご意見はあるか。

【各委員】 （意見等なし）

【中川会長】 1の班は私、2の班は久会長代理、3の班は高取委員がヘッドを務める。本日の会議の案件は終了しました。ほかに事務局から連絡事項はあるか。

【事務局】 （事務連絡）

【中川会長】 これをもって第3回生駒市総合計画審議会を終了します。

— 了 —